

道徳の時間の年間指導計画例

作成のポイント

●道徳の時間の指導に位置付ける

1時間の道徳の時間を通して活用したり、学習過程の一部に位置付けたりする。

●年間を見通して位置付ける

低・中・高学年（中学校は3年間）構成であることを踏まえ、年間を見通して、計画に位置付ける。

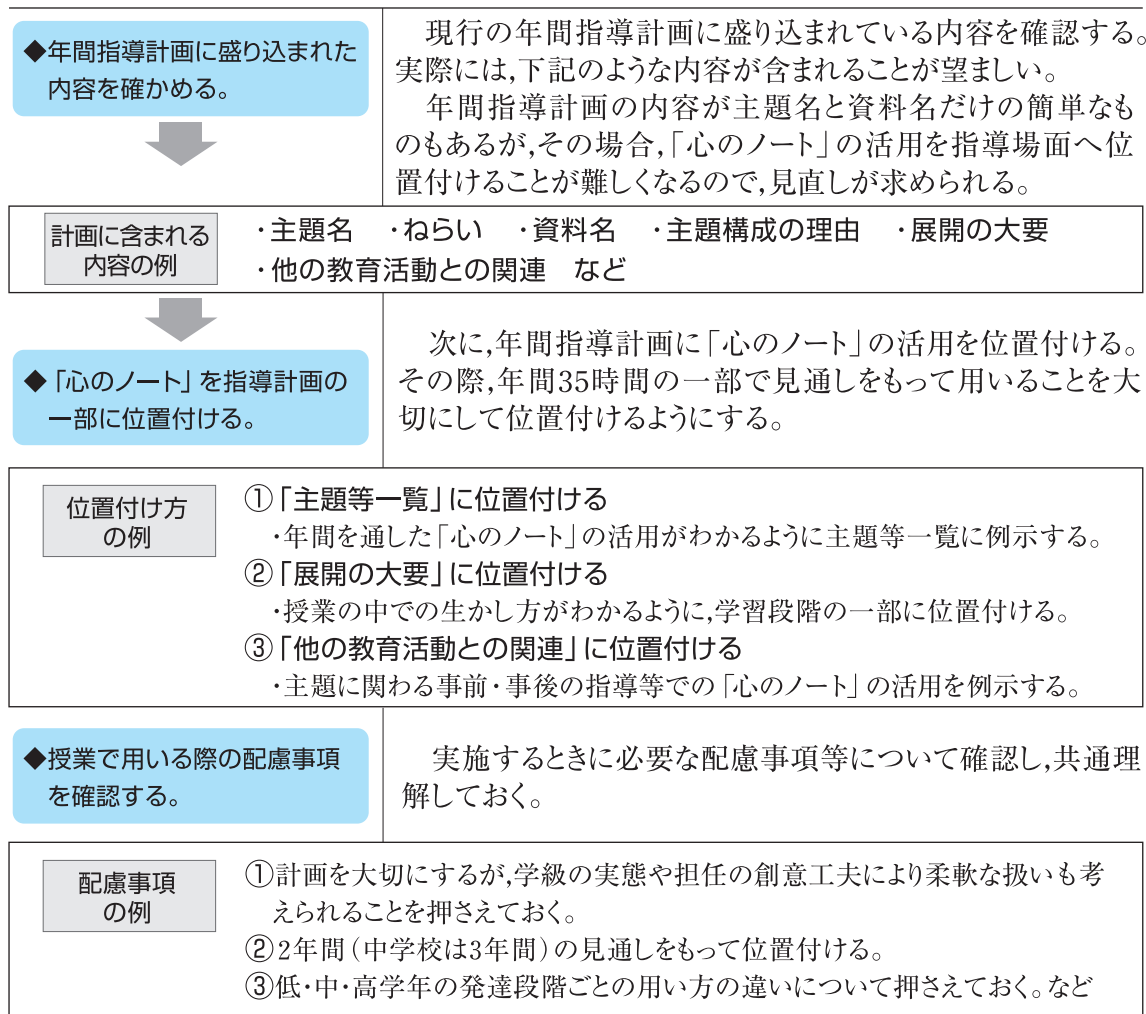
●柔軟に扱える計画にする

担任の年間指導計画による指導を基本としながら、創意工夫を生かすことのできる柔軟な扱いも大切にする。



●「心のノート」の活用を年間指導計画に位置付ける手順

「心のノート」の活用を年間指導計画に位置付けるまでの手順は、およそ次のようになると考えられる。各学校の実態によって、それぞれの工夫を図ることが望まれる。



道徳の時間に「心のノート」を見通しをもって生かし、指導の一層の充実を

●「心のノート」の活用を位置付けた年間指導計画例

1 「主題等一覧」に位置付けた例（第4学年）

月	週	主題名	内容項目	資料名	ねらい	「心のノート」の活用
4	1	よく考えて	1-(1)	少しだけなら	よく考えて行動し、節度ある生活をしようとする態度を育てる。 (情報モラルに関連)	
	2	みんなへの思いやり	4-(1)	あめだま	みんなで使う場所や物を大切にしようとする心情を養う。	終末 P.74「きまりやマナーを見つけよう」
	3	友達と力をあわせて	2-(3)	同じ仲間だから	友達と互いに助け合い、協力しようとする態度を育てる。	導入 P.44「ひとりじゃないからがんばれる」
5	1	勇気をもって	1-(4)	よわむし太郎	正しいことは勇気をもって行おうとする心情を育てる。	展開 P.22「なぜ勇気を出せないのだろう?」
	2	家族との協力	4-(3)	プラトレーのせいきゅう書	家族と協力して楽しい家庭を作ろうとする心情を養う。	終末 P.80「家族のために役立つ喜び」

2 「展開の概要」に位置付けた例（第5学年）

月	週	主題名	自由と規律
		資料名	うばわれた自由（文部省資料・平成3年）
6	3	○自由に対するイメージを出し合う。 ○資料を読んで話し合う。 ・王子に堅苦しく考えるなどと言われたガリユーは、どんなことを考えたか。 ・牢獄の中で、ガリユーはどんなことを考えたか。 ・牢獄で王子の言葉を聞いたガリユーは、どんな気持ちだったか。 ○自由と自分勝手をはき違えてしまった経験について話し合う。 ▶「心のノート」P.20～21「自由ってなんだろう」を読んでまとめる。 ・自由とは「自分勝手」とはちがう ・自由は「楽ができる」ということでもない	

3 「他の教育活動との関連」に位置付けた例（第2学年）

月	週	主題名	わたしのしごと
		資料名	もりのゆうびん屋さん（文部科学省資料・平成23年）
展開の概要			
	1	自分の係活動や当番活動の仕事内容について発表し合う。	
他の教育活動との関連			
9月	3週	●「心のノート」P.76～77「大切なそれぞれのしごと」 事後指導として、朝の話し合いなどで「はたらくっていいね」について、参照することを促す。それぞれの場面について補助シートを配布するなどして、意欲を高められるようにする。	

学級における指導計画例

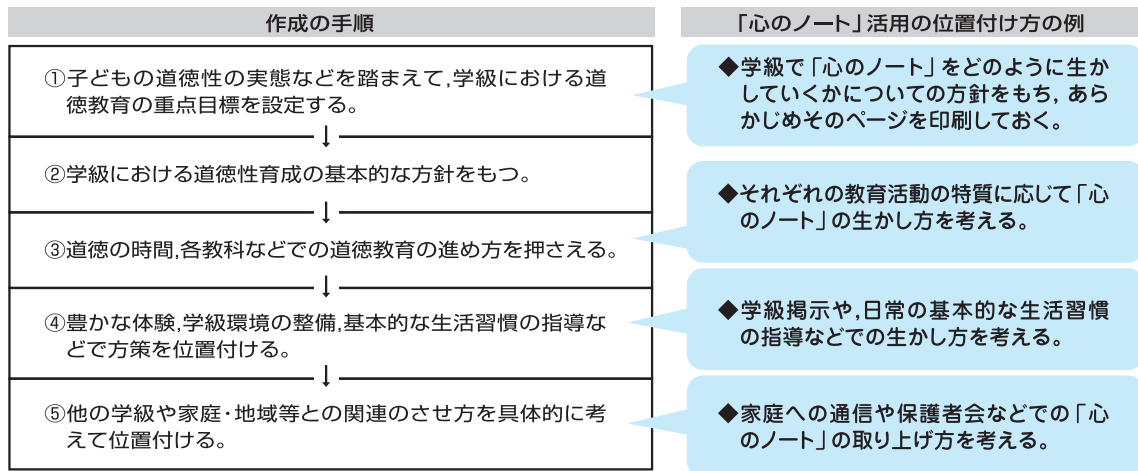
作成のポイント

- **子どもの実態をつかみ願いを受け止める**
学級の子どもの実態や、思い、願いなどをつかみ、「心のノート」の生かし方の発想につなげる。
- **学級における道徳教育の重点目標を捉えて方針化する**
学級における道徳教育で何を重点とするかについて考え、そこから、それぞれの生活場面や学習場面での使い方を多様に考える。
- **年間の見通しの中での周至な準備を行う**
学級での「心のノート」の年間の使い方の見通しをもつとともに、あらかじめそのページをダウンロードしてプリントアウトしておくなど、担任する教師が周至な準備を行う。

学級における指導計画への「心のノート」活用の位置付け方の例

1 作成の手順の例と「心のノート」活用の位置付け方の例

学級における道徳教育の指導計画には、学校、学年や学級の方針や願いなどによって様々な表現の仕方が考えられてよい。作成の手順としては、例えば、次の左のような方法が考えられる。その手順に則して、「心のノート」の生かし方を考えていくときに、例えば、次の右のような方法などが考えられる。



2 学級における指導計画に位置付けるときの留意点

学級で「心のノート」の活用を計画に位置付け、それをもとにして生かしていくときには、例えば次の点について留意することが大切である。

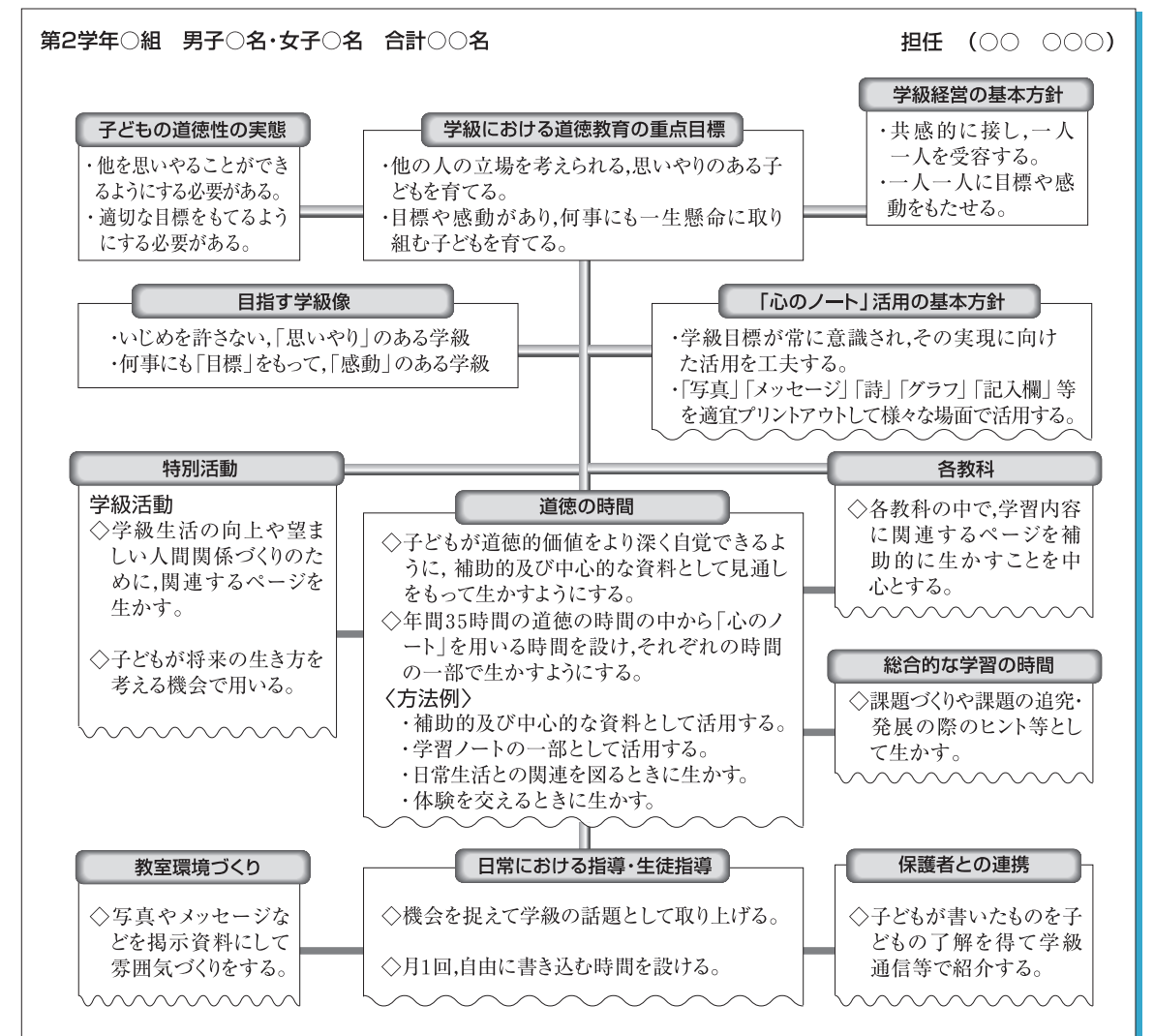
- (1) 教師は常に子どもの生活や学習の様子を見取りながら、計画に位置付けなかった場面も含め、機会を捉えて柔軟に「心のノート」を生かすようにする。
- (2) 「心のノート」の中の自由に書くことのできるページなどを生かして、学級生活の全体で子どもが継続的に活用することができるようにする。
- (3) 実際に「心のノート」を用いた日については、その日や場面などをメモするなどして、計画の修正や見通しのある生かし方に役立つ。
- (4) プリントアウトした「心のノート」は、専用のファイルにファイリングしておき、いつでもそのページをめくることができるようにする。
- (5) 専用のファイルは市販のものでもよいが、画用紙や厚紙に、子どもたちのイラストを描かせるなど、教師の創意工夫が生かされるようにする。

「心のノート」を生かし、目指す学級を実現するために

「心のノート」の活用を位置付けた学級における指導計画例

学級における指導計画例 (一部抜粋)

●以下は「心のノート」の生かし方を見やすく整理した計画の一部である。



◆計画のもとでの全教育活動での活用の実例

子どもには、各教科や総合的な学習の時間、特別活動などで考えた内容を「心のノート」に書き留めるように指導する。

右の写真は、[中学校用P.75](#)に道徳の時間や保健体育、理科の授業で考えた内容をまとめたものである。そうした様子の子どもの理解をもとに学級通信などで紹介している。



中学校用P.75の子どもの記入例